



学校関係者評価結果

(2022 年度)

(2023.5.31)

学校法人川原学園

東京動物専門学校

はじめに

専修学校の学校評価は、2007(平成19)年の学校教育法及び同施行規則の改正により、①自己評価の実施・結果の公表に関する義務、及び②学校関係者評価の義務・結果の公表に関する努力義務が課されています。

東京動物専門学校は、2014(平成26)年3月に文部科学大臣より「職業実践専門課程」の認定を受けております。そこで、本年度は、次により、「学校関係者評価委員会」を開催いたしましたので、その結果を公表いたします。

I. 学校関係者評価委員会開催状況

第1回 2022年5月17日(火) 場所:日本橋貸会議室
第2回 2022年12月13日(火) 場所:日本橋貸会議室

II. 委員名簿

学校関係者評価委員会委員名簿

お 名 前	所 属
山 田 厚 志	芝国際中学校・高等学校 教諭
鈴 木 守	東京動物専門学校 保護者(34期生)
土 門 亜 希	東京動物専門学校 保護者(35期生)
片 井 信 之	NPO 静岡県自然史博物館ネットワーク非常勤職員 元富士サファリパーク飼育部長
岡 本 元 江	東京動物専門学校 卒業生

※ 以上敬称略

学 校 側 委 員

名 前	所 属
北 村 健 一	学 校 長
川 原 亜 記	事 務 長
米 谷 良 一	学生課長
川 原 一 志	非常勤講師(飼育場長)

学 校 関 係 者 評 価

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④	3	2	1
・理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・ 保護者等に周知されているか	④	3	2	1
・教育目標、育成人材像は、業界のニーズに向けて方向づ けられているか	4	③	2	1

① 取り組み及び課題

東京動物専門学校は、1987年の開校以来「心・知・技・体」であり、保護者アンケートの結果からも高い支持を得ており、継続する。動物飼育管理技術者の養成に特化した専門学校で、卒業生の就職先は動物園・水族館、観光牧場、畜産、愛玩動物等、動物関連で業種は幅広い。開校以来 34 年が経過したが、2020 年 1 月発生した新型コロナウイルス感染症の防止対策に 2022 年度もかなり振り回された。動物飼育に関する基本姿勢は維持しつつ、学校の理念・目的等は現状のままとする。

② 今後の改善方策

就職先が様々な業種であり、飼育対象とする動物、飼養目的等も多岐であるが、専門学校の特色である即戦力となる人材育成を目指すカリキュラムを実施する。動物園・水族館への関心はあるものの、最近の園館を全く見ていない学生も多くいる現状を踏まえ、就職への確かな動機付けのため入学早々の 1 年生を対象に、動物園・水族館を専門家と共に見学する特別授業も 8 年目を迎えました。コロナ禍の影響で見学する動物園・水族館を変更し、更なる効果に期待し継続する。

③ 学校関係者評価委員よりのご意見

動物飼育管理技術者を養成し、動物園・水族館への就職の夢をもって入学してきた学生にその夢を実現できるような教育を、今後とも一層進めていただきたい。

(2) 学校運営

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・ 目的等に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2	1
・ 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④	3	2	1
・ 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、また、有効に機能しているか	④	3	2	1
・ 人事、給与に関する規程等は整備されているか	④	3	2	1
・ 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	④	3	2	1
・ 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	③	2	1

① 取り組み及び課題

学校の校訓・目的にそって毎年事業計画を策定し、年度毎の運営方針も明記し、教職員に周知徹底を計っている。また毎年 3 月には講師会を開催し、運営方針等を説明し、関係者一体となつての運営を図っている。情報公開は、学校基本情報、自己評価等も学校 HP で公開しており、適切である。また IT の進展に伴う、業務の簡素化・効率化はまだまだ改善の余地があり、今後の課題ではある。また、学校案内の冊子「まるで動物園のような学校!」も毎年改定し、現代の若者に興味を持ってもらえるよう工夫している。

② 今後の改善方策

情報公開に関しては、HP を活用して実施しているものの、迅速な更新に努める。学校案内冊子も作成しているが、ペーパーレス化社会に対応し、情報発信方法を検討する。また学生数の増加に対応した人材等は補強しているが、学生課職員についての業務分掌を整理し、効率化に努める一方、職員のレベルアップも図る。

③ 学校関係者評価委員よりのご意見

保護者へのアンケートで毎年「学校は保護者の要望に良く応えている」かの質問で、他の質問項目と比べてやや厳しい評価を受けていますので、そのため、保護者の要望などについて、少し具体的な内容の把握に努めてもらいたい。

(3) 教育活動

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④	3	2	1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④	3	2	1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④	3	2	1
・関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	④	3	2	1
・関連分野における実践的な職業教育(産学連携による職業体験・インターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	④	3	2	1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	④	3	2	1
・職業教育等に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	④	3	2	1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確に	④	3	2	1
・飼育実習を指導できる職員は、配置されているか	④	3	2	1
・目標に達しない学生に対する適切な指導がなされているか	④	3	2	1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	③	2	1

① 取り組みと課題

2013 年度より学生及び保護者アンケートを実施しており、その結果を講師等にフィードバックし、講義内容や授業の改善、更に、施設等に関する不満等の解消に努めている。
また教育課程編成委員会、学校関係者評価員会開催により、企業の提言、指導事項、研修先施設等からの評価等を委員会で検討し、職業実践教育に向けたカリキュラムや授業運営に反映させる。

② 今後の改善方策

アンケート結果については、迅速に結果を関係者に公表し、迅速なる改善に努める。
また学生数の変動にあわせて飼育実習場で効率的・効果的な実習が出来るよう改善を図る。

③ 学校関係者評価委員よりのご意見

コロナ禍での緊急事態宣言等の発出でも、感染防止に努めながらの授業や実習等を前向きに進めているのは感謝する。今後も感染防止に配慮した、授業に努めていただきたい。

(4) 学修成果

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・就職率の向上が図られているか	④	3	2	1
・退学率の低減が図られているか	4	③	2	1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	④	3	2	1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	③	2	1
・当世の学生特性を捉えて指導をおこなっているか	4	③	2	1

① 取り組みと課題

コロナ禍での厳しい就職活動ではあるが、今年度の就職率もほぼ 100%であり、動物園・水族館には 52 名が就職できた。2022 年度入学生の 1 年間の退学者は 16 名で、前年も 16 名であり同数の退学者でした。退学理由は進路変更などですが、コロナの影響も大きく、退学者ゼロを目指した学生の指導に努める。

② 今後の改善方策

就職率は 100%だが、少しでも希望の就職先に合格できるよう指導を徹底する。就職先として推薦するには問題のあるような施設も見受けられるので、教職員がそのような現場に赴き、実態を把握し、学生への紹介説明等が十分にできるようにする。また動物園・水族館以外にも飼育の分野は多岐にわたっていることを色々な機会を捉え紹介し、新たな就職先への動機付けになる指導を行う。

③ 学校関係者評価委員よりのご意見

専門学校に入学してくる目的は、希望する職業への近道だと理解しております。動物園・水族館への就職は厳しさを増しておりますが、その目標達成への教育活動に、今後とも努めていただきたい。

(5) 学生支援

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
・学生相談に関する体制は整備されているか	4	③	2	1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④	3	2	1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④	3	2	1
・学生の生活環境への支援行われているか	④	3	2	1
・保護者と適切に連携しているか	4	③	2	1
・卒業生への支援体制はあるか	④	3	2	1
・学校窓口や電話での対応は、適切に行われているか	4	③	2	1
・キャンパスハラスメントへの対応は行われているか	4	③	2	1

① 取り組みと課題

入学生のレベルアップにより、精神的な「心」の悩みを持つ学生はほぼ見られなくなったが、あまりにも「心」優しい学生はおり、将来動物飼育を目指すには問題であり、適宜指導している。就職指導は、入学と同時に開始し、全体指導、就職窓口での個別指導、施設研修と段階をおり、徹底的に学生の就職を支援する体制を組んでいる。コロナ対応で振り回されており、学生への連絡事項は増大しそのタイミング等で課題は残った。

② 今後の改善方策

学生相談窓口などの学生支援や生活環境への支援対策等の充実を図りたい。
また学生満足度アンケート等を継続的に実施し、意見・要望を聞き出し、その結果を集約し、関係者に公表し、改善に結びつけている。

③ 学校関係者評価委員よりのご意見

〔 各種アンケートによる意見・要望等について、迅速に対応できるよう一層、努力してください。〕

(6) 教育環境

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・施設・設備やIT教材は、教育上の必要性に十分対応でき るよう整備されているか	4	③	2	1
・学内外の実習施設、インターンシップ等について十分教 育体制を整備しているか	④	3	2	1
・危機管理マニュアルは整備されているか	4	③	2	1
・危機管理対応の備品などは整備されているか	4	③	2	1
・飼育実習に対応する動物として、種類・頭羽数は確保し ているか	④	3	2	1

① 取り組みと課題

八千代キャンパスで2つの教室に大型モニターは設置完了したが、残るは富里キャンパスの講義室です。快適な講義を受けられる体制は徐々に進展している。また哺乳類から魚類まで動物園等で飼育されている大小様々な約230種1500頭羽の動物を飼育し、実習に供している。2020年度以降、コロナ禍での危機管理対応が必須であり、関係機関よりの勧告や指導に基づき実施し、コロナ感染防止に努めている。

② 今後の改善方策

設備のより一層の改善を図り、快適な講義が受講できるようにする。
飼育実習では、動物の種類、飼育数は問題ないが、学生数の変動もあり、実習体制の見直し改善は必要であり、様々な飼育管理者の育成を目指す職業実践課程に相応しい内容とする。コロナ対応として、自動検温器、二酸化炭素測定器などを整備し対応。今後も必要な感染防止機器の充実には務める。

③ 学校関係者評価委員よりのご意見

施設・設備などの不具合や、経年劣化は、今後とも生じるので、その改修などについて、今後とも、適切な対応を願いたい。また実習場講義棟の新築は、学生にとってよろこばしい事です。今後は飼育実習施設の環境整備も併せて願いたい。

(7) 学生の受入れ募集

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・ 学生募集活動及び入学選考は適正に行われているか	④	3	2	1
・ 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④	3	2	1
・ 学納金は妥当なものとなっているか	④	3	2	1
・ インターネット上での学校案内のHP更新は適宜行われているか	4	③	2	1

① 取り組みと課題

学生募集活動は、インターネットでの学校案内、募集重要事項等の掲載など情報提供ならびに職員が高校に出向き学生への説明や案内を行っている。また学校説明会、授業見学体験入学及び施設見学のオープンキャンパスを、コロナ禍でも十分な回数ではなかったが実施。課題として、富里施設への公共アクセスがないので、成田駅よりバスで送迎しているが、経費や時間などに、やや課題があることである。

② 今後の改善方策

富里実習施設見学にて十分な事前体験が施設的には可能だが、アクセスの改善が必要。多くのテレビ局の取材、放映により、入学希望者がここ数年間は増加し、定員を確保していたが、コロナの影響により地方からの志望者が激減し、結果的に定員には至っていない。「職業実践専門課程」認定の専門学校として認知され、更なる差別化による優位性の確保など、高校への浸透策が課題。開校以来 33 年間に全国各地の動物園・水族館で卒業生が活躍しており、その実績により学校の伝統なるものができつつあり、今後更なる伝統を延ばす活躍を継続する。

③ 学校関係者評価委員よりのご意見

コロナなどの影響で、地方からの応募者が減少していたが、コロナ後は、全国から応募してくるような魅力ある専門学校となるよう希望します。そうなれば結果的には定員を確保できると思います。TV効果は絶大であり、今後も引き続きマスコミ関係者との良好な関係構築を願います。

(8) 財務

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・ 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	③	2	1
・ 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	③	2	1
・ 財務について会計監査が適正に行われているか	④	3	2	1
・ 財務情報公開の体制整備はできているか	4	③	2	1

① 取り組みと課題

このところ定員を満たす学生を確保し、基幹収入の主たる納付金である帰属収入で安定した財務状況となっている。ただいつまでもこれが続くとはいえず、設備改善等の投資は慎重にならざるを得ない。会計等の処理については、会計士等の専門家による指導、監査にて適正に処理している。

② 今後の改善方策

中長期では少子化により学生数確保は、ますます困難となる。入学者数確保に全力にて努める一方、経費の節約を徹底し、財務の安定を図る。八千代校舎隣接地は芝生による緑化を実施し維持しているが、学校祭利用の他に有効活用を図る。また、今後も、経費の見直しなどさらに検討を続けること。

③ 学校関係者評価委員よりのご意見

安定的な財務運営を図りながらも、施設の充実を願いたい。

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2	1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④	3	2	1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	④	3	2	1
・自己評価結果を公開しているか	④	3	2	1

① 取り組みと課題

2022年度は対面での学校評価委員会等を2回、開催でき、各委員から、活発なご意見をいただきました。コロナ禍での学校行事等の対応につきまして、問題ないとの意見を頂戴しました、また、3年に及ぶコロナで社会情勢や意識は大きな変化をきたし、学校もその変化に対応せざるを得ない状況です。委員会等でのきたんのない積極的な意見をお願いします。

② 今後の改善方策

職業実践専門課程に基づく各委員会について、より深まった議論が出来るよう委員の協力を得ながら、より現実的で建設的な意見交換の場となるよう努力する。

③ 学校関係者評価委員よりのご意見

個人情報の取り扱いに関し、ますます難しくなっております。また2022年4月より成人年齢引き下げられました。当然殆どの学生が成人となり、学生への指導が一段と必要となるような案件が生じると推測します。保護者との意思疎通を図りながらも、個人情報の保護対策もよろしく願います。

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	3	2	1
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	3	2	1

① 取り組みと課題

9月に3日間、学校祭を八千代キャンパスで開催した。2022年には後半の2日間のみ、一般来場者にも開放して実施した。しかし飲食関係は中止した。継続的に実施運営する上で、2年生より1年生への伝承が必要であり、今後も毎年内容を充実させ、進化させたものとする。

② 今後の改善方策

2023年にはコロナは5類に変更され、規制は大幅に緩和される見込みです。コロナ以前の学園祭を目標に、早くから計画準備に取り掛かりたい。

③ 学校関係者評価委員よりのご意見

コロナが収まった後は、また近隣の行事への参加など、ボランティア活動の再開をお願いします。30数年の歴史の中で、学校祭がますます卒業生等との交流の場となればと思います。

(11) 新型コロナウイルス感染症対応

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・ 新型コロナウイルス感染症に対し、県の協力要請に応じているか	④	3	2	1
・ 検温、消毒、殺菌などの予防対策は十分か	④	3	2	1
・ 検温、消毒、三密対策など、学生に実施させているのか	④	3	2	1
・ 新型コロナ等についての学習機会の確保と対策の指導について、考慮されているか	4	③	2	1

① 取り組みと課題

2020 年 4 月非常事態宣言発出に伴い、初期には休校、その後分散授業などにて対応しました。その後も繰り返し宣言発出しましたが、検温、消毒やマスク励行や三密回避など学生へ徹底した指導を行いました。第 7・8 波では 1 日当たりの感染者は 20 数万人を超えましたが、病原性は弱体化しました。しかし油断はせず、警戒し続けました。

② 今後の改善方策

2023 年 5 月には感染症法で 2 類から 5 類に取扱いが緩和されます。また WHO もコロナ緊急事態の「終了」を宣言しました。しかしコロナウィルスは消滅したわけではありません。今後どのような感染予防対策を講じるか、社会の動静を見ながら対策を検討し実施する。

③ 学校関係者評価委員よりのご意見

今後とも、社会の動向を見ながら対策を、また、最近、国際的に、動物も人間もお互いに関係している「ワンヘルス」との考え方が広く認識されてきており、学校もこれらの考え方など参考にしたらどうでしょうか。